

桜縁

特集●箱根駅伝

フロントランナー●世の中をよくする気概を持って投票を
中央選挙管理委員会委員長 石原輝

特別寄稿●サステイナブルな都市計画と新たな都市空間像
生産工学部教授 坪井善道

連載●袖すりあうも
カフェダイニング オオハラ
静岡県/京風料亭旅館「正平荘」

連載●動物・ペットQ&A 山元動物病院

連載●われら日大ファミリー 加藤達郎さん一家

支部・部会紹介/キャンパス・グラフ/校友会ニュース



応援リーダー部「DIPPERS」による日大フェア（東京会場）での演技

桜縁

日本大学の友誼・絆
No.4(2004.1)

CONTENTS

特集●

箱根駅伝3

小川 聡監督、藤井 周一キャプテン
メンバー紹介、森山 憲一委員長

フロントランナー

石原 輝 (中央選挙管理会委員長)



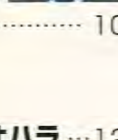
世の中をよくする
気概を持って投票を



特別寄稿

坪井 善道先生 (生産工学部教授)

サステナブルな都市計画
と新たな都市空間像



連載・袖すりあうも

お店紹介

カフェダイニング オオハラ ...12



お宿紹介

静岡県/京風料亭旅館「正平荘」...13

連載●動物・ペットQ&A~人とペットにやさしい病院紹介~

山元動物病院 (宮崎県日南市).....14

連載●われら日大ファミリー

加藤達郎さん一家.....15

支部・部会紹介 (法学部校友会、静岡県支部) ...16

イベント情報18

校友会ニュース20

キャンパス・クラブ22

お知らせ・掲示板23

「桜縁」の由来

日本大学(桜)と校友の皆さんとの縁を深めるだけでなく、校友の皆さん同士の縁も大切にしたいコミュニケーション誌を目指して『桜縁』(おうえん)と名付けました。また、校友の皆さんに母校の教育・研究活動や後輩達の学術・文化・スポーツ活動を“おうえん”(応援)してもらいたいという意味も込められています。

本学は総合大学とはいえ、キャンパスも離れているし、なかなか相互交流が取りにくかったのですが、最近では、総合学術情報センターの通信衛星を使った遠隔授業や、単位互換制度もでき、学部間交流が深まりつつあります。校友の皆さんも卒業してから学部間交流ができるように、この会報は、年齢層はできるだけ幅広く、学部・学科の枠を超えて一人でも多くの校友の皆さんを紹介していきたいと思っています。

IT(情報技術)が発達し、インターネットのホームページや電子メールでの情報伝達が増えていますが、この会報『桜縁』を持って、紹介する校友のお店などをふらっと訪ねて、自分も日大の卒業生だと話しかけてみるのも良いのではないのでしょうか。きっと日本大学の話で盛り上がり、新しい縁が生まれるはず。この会報をどんどん活用して、桜の縁が広がっていくことを願っています。



表紙の写真

学生の学術・研究・スポーツ活動を応援する目的で、本誌の表紙を学生のために広く開放し、活動発表の場にしたいと考えました。

応援リーダー部「DIPPERS」による日大フェア(東京会場)での演技
<推薦者・若女井光男 応援リーダー部監督>

本部保健体育審議会所属35番目の部として、平成14年4月に創部したのが応援リーダー部「DIPPERS」です。自らの演技で、大会に出場して戦うだけでなく、野球や駅伝など、他の運動部の応援も彼女達の重要な使命なのです。部員はみんな、スターではなく「華」を目指しています。他の部との共存や他大学との合同練習などの土壌整備が監督の主な仕事。環境を整えれば、あとは選手自身による開花を待つだけです。

箱根駅伝



「東京箱根間往復大学駅伝競走」通称「箱根駅伝」第80回競争が2004年1月2日、読売新聞社前をスタートします。2日間にわたり往復216.4kmを選手10人が走破するレースは、出場大学の威信をかけた長距離メインイベント。必勝を期して襷をつなぐ日大チームと大会の概要を紹介します。



小川 聡 監督 (昭和55年文理学部体育学科卒)

(おがわ・さとし)
昭和32年神奈川県生まれ。在学中は選手で78年箱根駅伝では雪の中、ウォーミングアップなしで区間3位。卒業後、日産自動車を経て1989年本学陸上競技部コーチに就任。91年全日本大学駅伝で初優勝、箱根駅伝は90年大会から2位、4位、2位。2001年に監督となり、全日本3位、箱根3位で古豪復活を印象づけた。

今シーズン、選手たちは「出雲・全日本・箱根の三冠を制覇する」という強い意志をもってスタートしました。6月から長期的なスケジュールを組み、「練習で達成したことしか試合では実現できない」という私の指導に従って、ハードな練習もしっかりこなしてきました。とくに最初のレースである出雲駅伝に照準を合わせたところ、全力を注いで、優勝を果たすことができました。続く、全日本は体調を崩して不本意な成績に終わりましたが、充電期間を取って臨む箱根駅伝は持てる力を発揮できると思います。

個人で「優勝」経験のなかった選手は「チームならば実現できる」という確固たる自信を得ました。また、ハードな練習を乗り越えたことで、自らの能力にも自信を持ったことが、きっと結果につながると信じています。

選手は一生懸命走ります。勝ちたいという決意で臨みます。箱根はOBを含め大学全体がひとつになる大会です。大学の代表として自覚をもって走ってくれるでしょう。



藤井 周一 キャプテン (商学部商業学科4年)

(ふじい・しゅういち)
昭和56年兵庫県生まれ。兵庫・西脇工高1、2年のとき、高校駅伝で優勝。本学進学後は長距離のエースとして全大会に参加。箱根は1、2年でエース第2区間を走り、3年で第4区間を走って区間2位。2003年出雲駅伝では激しいデッドヒートの末、トップでゴールを切り、本学を同大会14年ぶりの優勝に導いた。

今年のチームはチームワーク抜群です。駅伝はチーム一丸となって闘うレースですから、個人の「勝とう」という気持ちよりも襷をつながれて、とても大きな力になります。

僕らが4年生になった時、「まず出雲で勝とう」と目標を立てました。全員がそう思い続けて毎日、厳しい練習に取り組みました。最後は激しい競り合いとなりましたが、最終走者だった僕は「みんなのためにも優勝したい」という気持ちで競り勝ち、ゴールテープを切ることができました。みんなの力がゴール前の一瞬の力になったと思います。

続く全日本は疲れがあり、またおごりもあったのか、結果は出せませんでした。しかし、そのおかげで気を引き締めて箱根に臨むことができます。走り込みも十分行い、スタミナもつきました。僕は今、手応えを感じています。

箱根は1年間の集大成、僕個人としては4年間の集大成です。優勝したいという気持ちはどこよりも強く持っています。いい走りをお見せしますので、ご期待ください。

メンバー紹介

氏名、フリガナ、学年、学部、学科、出身高校、身長、体重
5000m、10000m、ハーフマラソン、3区PR



藤井 周一 フジイ シュウイチ
4年 商学部 商業学科 西脇工業高校出身
176cm 58kg
5000m 13分56秒4
10000m 28分33秒94
ハーフマラソン 1時間02分9秒
今年で最後の箱根駅伝となってしまいました。日本大学のタスキをかけて走れる事を誇りに思いキャプテンとして、エースとしてプライドを持って走りしたいと思います。



白柳 智也 シラヤナギトモヤ
4年 文理学部 体育学科 浜松日体高校出身
165cm 52.5kg
5000m 14分04秒95
10000m 29分31秒
ハーフマラソン 1時間03分47秒
目標に向かってコツコツと頑張る。



蔭谷 将良 カゲタニ マサヨシ
4年 商学部 経営学科 西京高校出身
167cm 53kg
5000m 14分06秒
10000m 29分51秒
ハーフマラソン 1時間03分52秒
3大駅伝(出雲、全日本、箱根)で区間賞、そして優勝を目指して残りの1日1日を大切に練習を積み重ねたいです。



中谷 圭介 ナカタニ ケイスケ
4年 商学部 商業学科 西脇工業高校出身
169cm 54kg
5000m 13分55秒9
10000m 29分09秒8
ハーフマラソン 1時間03分22秒
昨年の箱根駅伝では7区間2位と、区間賞まであと12秒でした。その悔しさをバネに最終学年になった今年は、今まで支えてくださったみなさんに感謝の気持ちを持って、有終の美を飾るようにしたいです。



岩井 勇輝 イワイ ユウキ
3年 商学部 商業学科 成田高校出身
176cm 57.5kg
5000m 14分01秒94
10000m 28分43秒45
ハーフマラソン 1時間03分31秒
どんな状況にあっても冷静に確実に走れる。大崩れせず、自分のペースを守れるが、その為に今までは無難な走りしかしてこなかったが最低限ではなく、自分の力を、最大限発揮できるように頑張る。



原 洋平 ハラ ヨウヘイ
3年 商学部 商業学科 土岐商業高校出身
176cm 58kg
5000m 14分11秒90
10000m 29分51秒9
ハーフマラソン 1時間06分38秒
走りの持ち技はスピードよりも持久力を得意としています。大学生活も3年目になり、入学時よりもかなり力がついてきたと実感しています。今年度の箱根駅伝ではチームを引っ張っていく人材として頑張ります。



仙頭 竜典 セントウ タツノリ
3年 商学部 経営学科 洛南高校出身
176cm 59kg
5000m 14分09秒06
10000m 29分31秒
ハーフマラソン 1時間04分47秒
今年は今まで一番練習がつめてこれました。今年3大駅伝全に出で、結果を出したいです。



渡邊 哲也 ワタナベ テツヤ
3年 文理学部 体育学科 佐野日大高校出身
173cm 59kg
5000m 14分32秒08
今年度は大きな故障もなく、夏合宿の走りこみを終えることができました。この調子を保ち、少しでもチームの力になれるよう頑張りたいです。



西岡 辰雄 ニシオカ タツオ
3年 商学部 会計学科 倉敷高校出身
176cm 59kg
5000m 14分41秒42
10000m 30分32秒
ハーフマラソン 1時間06分12秒
冷静に走ることができ、1~2年の時と比べ粘りのあるレースができるようになった。



武者 由幸 ムシャ ヨシユキ
2年 文理学部 体育学科 田村高校出身
179cm 63kg
5000m 14分21秒
10000m 29分48秒
ハーフマラソン 1時間05分23秒
私は箱根駅伝に出場する為に、日本大学を選び優勝が頭にありません。絶対優勝して部員全員で喜びたいです。箱根は負ける為に走るのではなく、勝つための舞台なんだ!



宮崎 貴雅 ミヤザキ タカマサ
2年 商学部 商業学科 西脇工業高校出身
173cm 59kg
5000m 14分30秒76
10000m 30分47秒
ハーフマラソン 1時間06分08秒
日大に入って陸上をして良かったと思えるように頑張っています。



吉岡 玲 ヨシオカレイ
2年 商学部 経営学科 室蘭大谷高校出身
163cm 50kg
5000m 14分27秒47
10000m 29分50秒
ハーフマラソン 1時間03分53秒
高校、大学共に、個人では大した実績を持っていないですが、前回箱根を走った経験があるので今年も頑張りたい。



下重 正樹 シモジュウ マサキ
2年 文理学部 哲学科 佐野日大高校出身
175cm 53kg
5000m 14分24秒
10000m 30分25秒
ハーフマラソン 1時間03分02秒
夏は、充実した練習ができたので、そろそろエンジン全開していきたいと思っています。



土橋 啓太 ツチハシ ケイタ
1年 文理学部 体育学科 大田高校出身
175cm 58kg
5000m 13分44秒
10000m 28分49秒
日本大学に入学した目的は、箱根駅伝で優勝したいと思ったからです。4年間強い日大を作っていけるように、チームに貢献していきます。



秀島 隼人 ヒデシマ ハヤト
1年 商学部 会計学科 埼玉栄高校出身
170cm 54kg
5000m 14分16秒07
何事にも一生懸命に自分が納得するまでやります。大学に入学してからは、怪我で悩んだ時期もありましたが、周りの先輩方に力を借りて走れるようになりました。最後まで諦めないをモットーに頑張ります。



関 博紀 セキ ヒロキ
1年 生物資源科学部 森林資源科学科 東京農大二高校出身
175cm 60kg
5000m 14分29秒23
決して諦めることなく積極的にいきたいと思う。入学当初は肩にポルトが入っていたが夏前にポルトを取り払いよいエンジン全開です。これからの競技力アップに期待してください。



福井 誠 フクイ マコト
1年 商学部 商業学科 市立船橋高校出身
176cm 60kg
5000m 14分18秒10
夏合宿で走り込みができたので、距離への不安が無くなってきた。短い距離が得意なのでラストスパートには自信がある。負けず嫌いでゴールするまで絶対諦めないで箱根では1区を狙いたい。学生界トップを目指す!



原田 徹 ハラダトオル
1年 文理学部 体育学科 作久長聖高校出身
173cm 61kg
5000m 14分20秒29
10000m 29分24秒92
最後まで、諦めずにやり抜く事をモットーとして何事も取り組んでいます。今は箱根に向けて頑張っています。



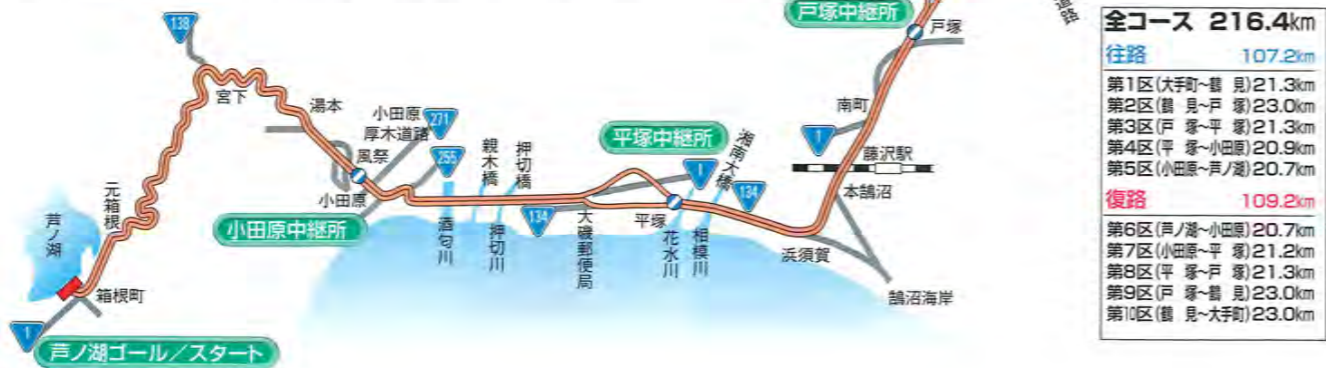
高橋 秀昭 タカハシ ヒデアキ
1年 生物資源科学部 食品科学工学科 佐野日大高校出身
167cm 56.5kg
5000m 14分12秒76
10000m 30分54秒42
負けず嫌いなので、負けまい、強くなる為一人倍努力できる。



末吉 翔 スエヨシ カケル
1年 商学部 経営学科 清風高校出身
172cm 58.5kg
5000m 14分21秒07
何事にも一生懸命取り組む。箱根のメンバーに入って優勝したい。ラストスパートには自信がありラストに持ち込めれば勝つ自信がある。

箱根駅伝過去79回の優勝校

回数	西暦	優勝校	記録	回数	西暦	優勝校	記録	回数	西暦	優勝校	記録
1	1920	東京高師	15:05:16	26	1950	中央大学	12:35:36	56	1980	日本体育大学	11:23:51
2	1921	明治大学	14:39:01	27	1951	中央大学	12:20:13	57	1981	順天堂大学	11:24:46
3	1922	早稲田大学	14:12:21	28	1952	早稲田大学	12:35:07	58	1982	順天堂大学	11:30:00
4	1923	早稲田大学	14:15:49	29	1953	中央大学	12:03:41	59	1983	日本体育大学	11:06:25
5	1924	明治大学	14:25:09	30	1954	早稲田大学	12:21:10	60	1984	早稲田大学	11:07:37
6	1925	明治大学	14:09:54	31	1955	中央大学	12:08:40	61	1985	早稲田大学	11:11:16
7	1926	中央大学	14:17:31	32	1956	中央大学	12:04:49	62	1986	順天堂大学	11:19:33
8	1927	早稲田大学	14:25:37	33	1957	日本大学	12:14:04	63	1987	順天堂大学	11:16:34
9	1928	明治大学	13:54:56	34	1958	日本大学	12:02:17	64	1988	順天堂大学	11:04:11
10	1929	明治大学	13:32:50	35	1959	中央大学	12:01:23	65	1989	順天堂大学	11:14:50
11	1930	早稲田大学	13:23:29	36	1960	中央大学	11:59:33	66	1990	大東文化大学	11:14:39
12	1931	早稲田大学	13:21:15	37	1961	中央大学	11:55:40	67	1991	大東文化大学	11:19:07
13	1932	慶応大学	13:17:49	38	1962	中央大学	12:14:05	68	1992	山梨学院大学	11:14:07
14	1933	早稲田大学	12:47:53	39	1963	中央大学	12:00:25	69	1993	早稲田大学	11:03:34
15	1934	早稲田大学	12:58:24	40	1964	中央大学	11:33:34	70	1994	山梨学院大学	10:59:13
16	1935	日本大学	12:52:59	41	1965	日本大学	11:30:41	71	1995	山梨学院大学	11:03:46
17	1936	日本大学	12:54:22	42	1966	順天堂大学	11:20:01	72	1996	中央大学	11:04:15
18	1937	日本大学	12:33:24	43	1967	日本大学	11:24:32	73	1997	神奈川大学	11:14:02
19	1938	日本大学	12:40:13	44	1968	日本大学	11:26:06	74	1998	神奈川大学	11:01:43
20	1939	専修大学	13:01:00	45	1969	日本体育大学	11:30:58	75	1999	順天堂大学	11:07:47
21	1940	日本大学	13:12:27	46	1970	日本体育大学	11:31:21	76	2000	駒澤大学	11:03:17
1941	太平洋戦争のため中止			47	1971	日本体育大学	11:32:10	77	2001	順天堂大学	11:14:05
1942	太平洋戦争のため中止			48	1972	日本体育大学	11:31:03	78	2002	駒澤大学	11:05:35
22	1943	日本大学	13:45:05	49	1973	日本体育大学	11:47:32	79	2003	駒澤大学	11:03:47
1944	太平洋戦争のため中止			50	1974	日本大学	11:46:02				
1945	太平洋戦争のため中止			51	1975	大東文化大学	11:26:10				
1946	太平洋戦争のため中止			52	1976	大東文化大学	11:35:56				
23	1947	明治大学	14:42:48	53	1977	日本体育大学	11:31:11				
24	1948	中央大学	13:21:10	54	1978	日本体育大学	11:24:32				
25	1949	明治大学	13:36:11	55	1979	順天堂大学	11:30:38				



箱根駅伝をバックアップする組織が
校友会に誕生しました。



日本大学校友会 箱根駅伝振興特別委員会
森山 憲一 委員長 (昭和31年法文学部法律学科卒)
 (もりやま-けんいち)
 昭和8年長崎県生まれ。在学中は応援団に所属し、卒業後も応援団監督に就任、現在は応援団校門会で本学スポーツ部会を鼓舞する。元経済学部事務局長。

箱根駅伝における本学の成績は、過去12回優勝という輝かしいものがありますが、昭和49年の第50回大会以降、優勝から遠のいています。しかし、小川聡監督を迎えた平成15年の第79回大会で総合3位に入り、また今年度は9月の第15回出雲駅伝で第1回大会以来の優勝を果たして、復活の兆しが見えてきました。これを機に、校友会でもチームをバックアップする体制を構築する気運が盛り上がり、9月19日箱根駅伝振興特別委員会が発足いたしました。

特別委は応援・募金・渉外の3小委員会からなり、それぞれレース本番に向けて活動しています。応援小委員会は、「紅萌ゆる」本学のチームカラーである紅色ののぼり1000本、横断幕及びポンチョを製作し、沿道の各ポイントで応援を繰り広げることになっています。渉外小委員会は応援小委員会とタッグを組み、印刷物を作ったり、関係機関との交渉を進めています。募金小委員会は目標500万円を掲げて努力を続け、実質2ヶ月で350万円を集めました。本番に向けて準備は着々と整っています。

本学スポーツ部は近年、相撲、自転車、射撃、ボートなど個人種目では目を見張るものがありますが、団体競技で勝利を得ることが少なくなりました。その年の大学スポーツのスタート

を飾る箱根駅伝で日大魂を発揮することができれば、その他のスポーツ部へも大きな影響をもたらすことでしょう。「駅伝」は日本で発祥し、世界で通じる言葉ですから、社会の各所で活躍する校友も意気揚がると思います。

また、校友会がひとつの目標に向かって一致団結することによって、校友の絆も深まると思います。選手も応援する校友も一丸となって「日本大学ここにあり」の氣勢を発したいものです。優勝から29年間のブランクがあり、箱根駅伝にかけの意気込みは参加各校とも同様に強いものがあります。第80回大会はとくに「戦国駅伝」と評されるほど、闘いは厳しくなっています。選手に持てる力を発揮してもらえよう、ベストな状態で当日を迎えられるよう、そして過剰な期待で押しつぶされないよう、箱根駅伝振興特別委員会は黒子に徹して支援していきたいと思っています。



東京全日空ホテルで開かれた日大フェアで挨拶する森山委員長

義務ではなく権利ととらえ 世の中をよくする気概を持って投票を



石原 輝 (昭和30年法学部法律学科卒)

大正15年東京都生まれ。電気関係の専門学校を経て日本電気に就職。就労の傍ら日大高校夜間部に通い、弁護士を志して本学へ。昭和30年卒業、司法試験合格。33年弁護士登録し、石原法律事務所開所。著書に「わかりやすい人事労務部員の法律相談」、共著に「訴訟は本人で出来る」など。現在は趣味を生かして物理学的に解説したゴルフ理論書を執筆中。95年から中央選挙管理会委員、2001年から委員長。東京弁護士会所属。

中央選挙管理会委員長を務める石原輝さんは、「熟年離婚のエキスパート」「夫婦別姓反対の旗頭」としても知られる庶民派弁護士。家族の視点から社会の在り方を説き、国政への参加を促す。喜寿を超え、ますます好奇心豊かな偉才が語る。

間違っただ基本的人権の解釈が投票率の低下を導く

——中央選管とは、どんな仕事をしているのですか。

中央選挙管理会は、参議院と衆議院の比例代表選出議員選挙の事務を管理する総務省管轄の委員会です。選挙を経験している元議員と行政法関係の学術研究者、そして実務経験のある法律家などで構成されています。

事務といっても公示や届出、投票・開票、あるいは国民に対する啓発、周知など多岐にわたりますが、それらは各自治体選挙管理委員会が行います。かいつまめば中央選管は、選挙活動において違反をする人がいる。どうしても人情でやりたくなるのでしようが、そんな悪いところを議論して是正するための方策を考える機関です。

——先頃行われた衆院選では、さらに投票率が落ちました。若年層の投票率も相変わらず低調です。

嘆かわしいことです。もっと社会全体に投票行動を促す雰囲気作りが必要だと思えます。私自身は、投票権を取得した時点から欠席したことはありません。法律家の立場でいうと、

権利と義務は表裏一体で、投票は義務であり、権利です。世の中をよくするかどうかは投票権を持つ人が握っています。投げつけては、世の中はよくなりません。

若い人の投票率が低いのは利己主義が原因でしょう。極論すれば、自分だけ良ければ国も社会もどうなってもいいと思っているんじゃないでしょうか。というのは、基本的人権を間違っただ解釈すると、利己主義になってしまうおそれがあるからです。社会全体に平等な基本的人権ではなく、自分個人の基本的人権を尊重するだけになってしまいます。

日本の親族制度は、世界に誇れるものです。

——若者に正しい基本的人権を認識させるには、どうしたらいいでしょうか。

基本的人権を正しく捉える出発点は身近です。夫婦ならば、夫は妻の、妻は夫の基本的人権を考えることから始まります。腹が立ったら手を挙げる夫婦ではいけません。ことに子供のいる前で手を挙げたならば、子供の心に暴力という常識が育ってしまいます。少年犯罪の元凶ですね。

父親が子供の教育に熱心になればいいと思います。封建時代は父親が子供のしつけを担当し、制約を与えました。そこから相手の基本的人権を尊重する心が養われたはずで、若年層が投票しない理由もこのへんにありそうです。

——家族の在り方が間違っただ方向に来ているのですか。

夫婦別姓問題は昭和62年、日本政府が国連の「男女差別撤廃条約」に批准したところから始まります。日弁連「女性の権利を守る委員会」が、当時の夫婦同姓をうたった民法の条文は条約違反であり憲法違反であると主張したのがきっかけでした。そのとき私は「憲法も民法も、男女どちらの姓を名乗ってもいいと解釈できる」と議論を建てました。「夫婦同居という物理的な制度と夫婦同姓という精神的な制度が、桶の上下のタガのようなものになって、家族を崩れないようにまとめている」と説いたのです。

日本の家族制度には親族という規定があります。親子1親等、兄弟2親等…となって6親等までが親族であり、親族は協力・扶助の義務があるとされています。世界中でこんな「親族」規定があるのは日本だけで、夫婦を中心にした日本の家族制度は世界に誇れるものなのです。では、この中で夫婦はどうか。私は「夫婦が0親等」という概念を打ち立てました。親等というバリアすらない、バリアフリーで一体です。ということは、ファミリーの中心としてファミリーネームを共有するのは当然と考えました。

夢が手の届くところに来たらつかまなくっちゃ

——家族の問題から社会の在り方を考える庶民派弁護士になったきっかけは、何だったのでしょうか。

子供の頃、小説雑誌で義勇弁護、現代でいう国選弁護を行って新聞配達の子の父親を救った弁護士の話を読んで、「弁護士っていい仕事だな」と感動しました。それ以来、すっかり忘れていたけれど、20代後半で法律の勉強をするようになって思い出したのです。

機械工場に生まれた私は、小学校の頃から家業を手伝い当然のように電気系の勉強をして日本電気に勤めました。戦争中は航空無線機の検査をしていて、戦後はラジオを作っていました。その頃、天皇陛下のラジオが壊れたというのでお住まいまで直しに行ったこともあります。

けれども、学歴がなくては昇進は望めないというので24歳

の時に日大高校の夜学の4年生に編入しました。さらに夜学では出世できないというので、子供の頃の夢がよみがえって大学では電気を捨てて法律を志し、2年のときに司法試験に合格した人の喜ぶ姿を見て夢が手に届くことに気づきました。「こうなったらつかまなくっちゃ」と、28歳の3年生で司法試験を目指して会社を辞め、昼間部に転部。1日13時間くらい勉強して、卒業の年に司法試験に受かりました。研究室で学友同志で議論を重ねた結果、机上の知識が生きたものになりましたから口頭試験は楽々でした。

——投票行動も夢とつながるといいのですけれど。

選挙は義務というよりも権利と思って、積極的に喜んで参加してほしいですね。私が子供の頃の夢をつかんだように、自分が世の中を変えるという気概を持ち、がんばればやれるんだと信じて政治に向かい合ってほしいと思います。



サステイナブルな都市計画と新たな都市空間像



坪井 善道

生産工学部建築工学科教授 工学博士 一級建築士

【略歴】昭和16年濱向島生まれ。昭和40年本学理工学部建築学科卒業、42年本学大学院工学研究科修士課程建設工学専攻修了。昭和42年4月～51年11月(株)丹下健三・都市建築設計研究所において建築、都市設計に従事。昭和51年12月本学生産工学部専任講師、平成8年4月同学部教授、現在に至る。

【専門分野】都市・地域計画、建築計画・設計。

【学会活動など】日本建築学会理事(2001.6～2003.5)、日本建築家協会監事(2003.4～)、日本都市計画学会評議員(2000.5～)、日本建築学会代議員(2003.6～)、その他市町村の都市計画に関する専門委員会委員および会長など。

【著書】「都市の計画と設計」(共著・共立出版)(2002.5)、「都市化の現状と将来」(共著・大明堂)(1995.4)他。

【発表掲載論文】日本建築学会計画系論文、日本建築学会技術報告集、日本都市計画学会都市計画論文、国際会議プロシーディングス、他建築学会大会学術講演等口頭発表多数。

【発表建築作品】「横浜の家」(建築文化83年2月号)、「草津の家」(住宅建築91年1月号)他。

【競技設計受賞作品】「第一回オホーツク町並み整備コンペティション/網走駅周辺地区町並み整備計画」(オホーツク委員会・網走市・オホーツクの21世紀を考える会主催・佳作一席)(1993.9)他3点受賞。



バブル経済の崩壊後10年以上経過した今日においても、未だに経済低迷から脱し得ていないのが我が国の状況といえます。当然建設投資関連もかつての勢いを失っているにもかかわらず、大規模開発プロジェクトが「汐留シオサイト」、「品川グランド commons」、「六本木ヒルズ」と東京の都心部に集中的に実現しています。

もちろん大規模なプロジェクトほど企画から完成まで長い年月を要することから、現在の経済事情の下でのみ計画が進行してきた訳ではなく、最近完成した「六本木ヒルズ」も、東京都がこの地区を「再開発誘導地区」に指定(1986)する以前から2003年3月の完成までに約20年の年月を費やしています。特に再開発事業は、多数の地権者の合意を前提とするため、再開発組合の結成、権利変換等の手続きなどややこしい手間のかかるプロセスを経なければ実現できません。また、都市計画的観点からは20年の年月は、ほぼ長期計画の実行・実現のスパンといえます。

さらに、このような大プロジェクトを実現させていく計画者側の膨大な作業とエネルギーは想像するに余りあるところでもあります。

しかし、このような大規模プロジェクトの是非を都市計画的観点から再度見直してみる必要はあります。もちろん民間資本の投入を前提とする再開発プロジェクトは、経済的メリットがない限り実現し得ないことは前提といえ、経済の活性化の手段としての意義は否定できませんが、「都市の健全な発展

と秩序ある整備を図り、もって国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与することを目的とする(都市計画法第一条。)]という都市計画の本来の建前に照らしてみると、いささかこれで良かったのかという疑問も湧いてきます。

「六本木ヒルズ」は2003年4月のオープン半年で2600万人の来街者を集め(日経2003年10月28日)盛況を極めています。一方、地方の中小都市の中心市街地は現在衰退が著しく、シャッター通りと揶揄される中心商店街が多数出現している状況です。いささか泥縄方式にも思えますが、「中心市街地活性化法(1998年7月)」の適用を受け活性化施策を図っているものも、その効果が未だに見えてこない状況にあります。一極集中の是正を図るための国家的プロジェクトである「首都機能移転」の話も合意が得られず、いつのまにか消えてしまっています。経済の高度成長を前提とした時代は終焉し、一方の繁栄は他方の衰退を招くトレードオフ関係の時代に突入したといえ、均衡ある国土の発展という理念も危うくなってきました。高齢化社会、人口減少は今後深刻な問題として対応していかなければなりません。特に地方中小都市におけるこれからのますます厳しい状況も想定できます。東京の観光スポット化した「六本木ヒルズ」の異常な盛況ぶりも、流行り廃りの著しいテーマパーク現象のように見え、いささか危うい一過性の繁栄に見えなくもありません。さらに、周辺の古くからある地域コミュニティとの関わりも疎遠になってきます。今日の都市型犯罪の急増も、主に都市部における地域社会の崩壊現象と無関係ではありません。オフィスの供給過多も深刻になりつつあります。また、テーマパーク現象に見られる非日常的体験への願望は、現実の社会との乖離と逃避を助長するようにも思えます。「六本木ヒルズ」に来る人たちが遠隔地のそれほど良好な住環境に恵まれない居住地から、日常生活空間にはない異空間体験をしにわざわざかなりの時間かけて出かけて来る人達も多いことも推測できま

す。「六本木ヒルズ」の高級な集合住宅に住みアーバンライフの利便性と快適性を享受する階層も限られています。

現在、サステイナビリティ(sustainability:環境を破壊することなく資源利用をすること)というキーワードが、環境問題への関心の高まりから用いられるようになってきています。もちろん都市空間、建築にもサステイナブルデザインが求められており、これは「持続可能なデザイン」という意味でもあります。これからの都市は物的環境と共に良好な社会環境の持続性が重要です。また、これからの都市計画は、今までの開発優先型都市計画とは一線を画し、歴史的、自然的資源の保存・再生を配慮したサステイナブルな都市空間のストック形成を図っていく必要があります。規制緩和施策に乗った大規模開発プロジェクトの時代は終焉し、低成長時代、高齢化社会にふさわしい環境共生型の都市計画と新たな都市空間像が求められています。



1975年、自然の恵みを受けた町づくりを理念に「持続することが可能で平和なコミュニティ」を目指し、米国サクラメント郊外デイヴィス市に計画された環境共生型住宅地「ビレッジホームズ」(計画立案実行者:マイケル&ジュディ・コルベツ夫妻)撮影:坪井善道(2000.12.30)

OB・OGが経営している

お店紹介

カフェダイニング オオハラ

大原 一繁さん

(平成元年農獣医学部食品経済学科卒)

困っている店や飲食業界の人を助ける
僕にしかできない仕事がしたいですね。

飲食業はホスピタリティ+エンタテイメント

京都のメインストリート四条通を北に入ったビジネス街。南仏で見ると赤いシェードのドアを開けると、特大のケーキ箱を抱えた若いお母さんとすれ違った。「いらっやいませ」の元気な声で迎えられるがフと見るとケースはカラ。「きょうはケーキは売り切れです」。これ、午前11時の出来事だ。

大原一繁さんが「1200年の歴史を持つ京都に、僕の足跡も残したい」と夢の店を開いて6年。壁一面にロートレックの絵が飾られた「カフェダイニング オオハラ」は、コーヒー片手に新聞を読むビジネスマンやお茶を楽しむ親子連れで賑わっていた。

「飲食業はホスピタリティ産業といわれますが、僕は加えてエンタテイメント産業でもあると思っています。コーヒーと食事、夜はスコッチなどお酒もサービスしますが、僕が本当に提供したいの

●プロフィール
大原 一繁

(おおはら かずしげ)

昭和42年京都市北区生まれ。松江日大高から本学へ。在学中は陸上中距離で活躍する傍ら、部長、体育連盟執行部企画部長などを歴任。卒業後、東京で大手繊維メーカー、大阪で外食チェーンに勤めるが、「アルバイトで体験した『ありがとう』といわれる喜びを自分しかできないサービスを確立して味わいたい」と31歳で独立。

は潤いと活力。商品力はもちろん、内装や外装あらゆる手段を尽くして、お客様に和んでいただきたいんです」

コクと香りを大切に、一杯一杯ハンドドリップで入れるコーヒーは、大原さんの思いがこもって温かい。

フードコーディネーター3級認定。次は2級に挑戦!

京都生まれの大原さんは、島根県松江市で高校生活を送り、大学を東京で、大阪で転職して、再び京都に戻った。三都物語ならぬ四都物語でつづったストーリーは生き方探した。

「大学時代に食に魅力を感じ、最初の就職先で確信して転身。大阪では昇進する直前に、マニュアルという存在が僕にとって束縛だと感じました。ならば自分の力で、自分しかできないサービスを提供する場を作るしかない。それがこの店です」

お客の7割は常連客。京都の町屋で知人ぞ知る隠れ家的存在になった。しかし大原さんの夢は止まらない。先頃、フードコーディネーター3級に認定され、活躍の場を広げようとしている。

「僕の知識と経験で困っている店を助ける。飲食業界の人を助ける、僕にしかできない仕事をしたいんです」

大原さんにとってこの店は、天職であり、使命なのだ。



●カフェダイニング オオハラ

【メニュー】 コーヒー、食事、ケーキ、アルコール類。
オリジナルの「OHARAブレンド」(350円)、
低価格を実現した「ブレンドNO2」(290円)。
【営業時間】 午前7:00~午後11:00
(ちょっとくらい遅くなくても大丈夫です)
【交通】 地下鉄烏丸線四條駅下車徒歩5分
阪急京都線烏丸駅下車徒歩5分
【住所】 京都市中京区西河院通錦小路下ル
サンハイツ入江1F
【電話】 075-256-0678

◎一口メモ

コーヒーは注文を取ってからハンドドリップで入れる丁寧さ。オリジナルコーヒーは大原さん自ら通って取引を実現した自家焙煎メーカーの豆を使用。食事はクロワッサン、ホットサンド、パスタなどの定番に加えて、時々注目の商品も登場。今年は豆乳シリーズ。メニューは年に1回替える。

OB・OGが経営している

お店紹介

静岡県/京風料亭旅館「正平荘」

中嶋 稔さん

(平成4年経済学部経済学科卒)

和の空間と正統な料理で勝負!
地域ぐるみの発展を目指しています。

板場を預かって36年の板長が作る絶品! 京風懐石

「お客様がお帰りになった後に『仲居さんが行き届いていた』『料理がおいしかった』などと書いてある置き手紙を見つけると感動します。これが旅館業の楽しさですね」

中嶋稔さんはうれしそうに目を細めた。祖父でもある創業者の名に由来する京風料亭旅館「正平荘」の3代目。「小さい頃から酒のお燗番などで手伝っていましたから、家業を継ぐのは当然と思って大きくなりました」とあくまでも自然体だ。

昭和40年に創業した正平荘は先代の時、当時は珍しい京風料亭旅館に模様替えした。パブル景気の始まる直前に利益率の高い高単価経営に切り替えて大当たり。料亭旅館ならではの季節の素材を生かし、贅を尽くした京風懐石が評判を呼んだ。

「父に先見の明があって、板場は京都の一流料亭で修行してきた人をヘッドハンティングして任せました。以来36年。奇をてら

●プロフィール
中嶋 稔

(なかじま つとのる)

昭和44年静岡県生まれ。日大三島高を卒業後、家業を継ぐべく経済学部へ。建材メーカーの大建工業に就職するが3年10ヶ月で退社。正平荘東京事務所勤務中にお父様が突然亡くなったため、28歳で代表取締役就任。伊豆長岡旅館協同組合理事。

わない正統な仕事に、全幅の信頼を置いています」と中嶋さん。素材と技と器が一体となった料理は正平荘の目玉だ。

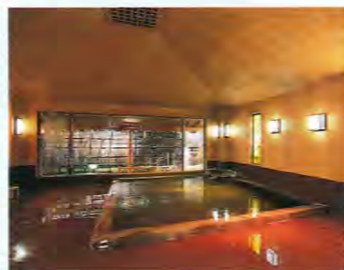
和の空間にこだわり、リピーターを増やしたい

料理だけでなく、施設も目を見張る。外壁は紅殻塗り、畳は市松模様浮かび上がる備前表、廊下の絨毯は波打つ純毛、カウンターテーブルや食器棚は輪島塗金箔仕上げ。さらに、回廊で囲われた見事な中庭には、季節の木々が絶妙に配置され、日本人でよかつたとほっと息をつく空間が広がっている。

「旅館は遊園地などと同じく空間産業または装置産業といわれます。ですから、まずお客様が心地よいと感じる空間が整っていて、次にソフトである料理や温泉、おもてなしがあります。当館は和の空間にこだわり、絶品の料理とお湯とおもてなしでお客様にリピーターになってほしいと願っています」

中嶋さんは宿のホームページに「主人のコラム」を連載している。四季の便り、おもしろ体験など、情報は様々だが、結句決まって「正平荘または伊豆長岡の温泉旅館で」と終わる。

「経済が低迷している今、個々の旅館でお客様のニーズを全て満足させるのは難しい。ですから、地域全体で盛り上げていくのが大切です。観光は日本の主要産業で、静岡ではリーディング産業。伊豆地区はそれを引っ張っていく役割があるんです」



●静岡県/京風料亭旅館「正平荘」

【概要】 収容70名：客室7室・特別室2室・特別貴賓室3室/大浴場：不二紅梅の湯・不二白梅の湯/料亭「閑雲嶺」舞台付80帖/茶室「玄心庵」/小さな美術館/円卓会議室/クラブ「東雲」/コーヒーラウンジ「夢」
【交通】 お車で：東名高速沼津ICから伊豆長岡温泉まで40分/新幹線で：東海道新幹線三島駅下車、伊豆箱根鉄道に乗り換えて、伊豆長岡まで20分。駅からバスで5分。
【住所】 静岡県田方郡伊豆長岡町古奈256
TEL.055-948-1304
FAX.055-948-1333

◎一口メモ

伊豆長岡は、関白太政大臣・藤原基経がはるか長岡京を忍んだとして名付けられた古都の味を残す町。正平荘は町に横たわる源氏山の東面、古奈地区にある。古奈はかつて「小名の湯」と呼ばれ、江戸全国温泉番付で前頭上位にランクされた。

<読者への特典>
「桜縁」読者は1割引。

動物
ペット
Q&A

山元動物病院 山元 敏進院長
(昭和19年東京高等獣医学校卒)

BSEや出荷偽装表示など、食肉を巡る問題が頻発している。私たち消費者が安全な肉を食べるには、生産者に安全な肉を作っていたかなくてはならない。16年の長きにわたって畜産県・宮崎の獣医師会会長を務めてこられた山元敏進先生に、食肉作りのご苦労と動物とつき合うポイントについて聞いた。

Q BSE問題の際は配合飼料の安全性が粗上りのほりでしたが、市販されているペットフードは安全ですか。

A 私が獣医師会会長のとき、県内で国内最初のBSEの疑いがある牛が確認され、私たち獣医師も対応に追われましたが、現在は生産も価格も以前に戻り、ひと安心してます。

BSEを例に挙げるまでもなく、飼料は動物の体内に入りますから注意が必要です。市販のペットフードには大変よくできているものもありますが、心配なのはチェックする仕組みがないことです。現在、配合されているものは完全に明らかにされていませんし、法律で規制する制度もありません。飼い主自らがよく調べて、安全な食べ物を与えましょう。

Q 飼い主のことをきかせるにはどうしたらいいでしょう。

A 動物にはのびのびと育つ環境が必要です。ですからまず、ストレスのない環境を整えてあげることです。また、飼い主の接し方も重要です。動物は人間の行動を見ています。私たちが何を思っているか、分かっています。散歩やしつけなどをきちんとし、優しく接触して相互に理解を深めれば、意志が通じると思えます。獣医師と話し合い、指導を仰ぐのもいいでしょう。

肉牛でしたらやはり、健康に育った牛の肉がおいしくなります。そのためには、畜産農家と獣医師の話し合いは欠かせません。私は感謝の気持ちを込めて、治療するというより指導する気持ちで農家や牛と接しています。国家資源のタンパク質を生産し、食糧供給を目的とする獣医師として、農家の不安をなくし、努力を促すことをモットーにしています。



●プロフィール
山元 敏進 (やまもと としのぶ)
山元動物病院院長。大正12年宮崎県生まれ。軍馬農家に生まれ、獣医を志して本学へ。宮崎県の畜産業が馬から牛へと移行し、また高度成長に合わせてペットブームが始まったのに合わせて、馬、牛、小動物へと多くの先達の下で臨床研究を重ねて専門を広げた。畜産農家の絶大な信頼を得る傍ら、繁殖障害の第一人者として若い獣医師に指導を続ける。昭和60年～平成13年宮崎県獣医師会会長。現顧問。ほか日本獣医師会理事、全国産業動物開業獣医師連絡会会長などを歴任。勲五等双光旭日章受章。

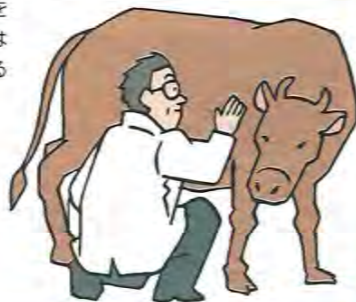
畜産農家は生産者と飼育者に分かれますが、生産者にとっては1年1産つまり年に一度子を産ませること、飼育者にとってはいかに立派な牛を育てるかということが、第一義的な目標です。獣医師はその双方に、的確な指導をし、畜産農家を助ける役割を担っています。私は現在、約6000頭の牛を見ていますが、学校では馬の勉強をしました。しかし、帰郷してみると畜牛が主体となっていたので、屠場に2年間通って全ての牛の直腸に手を入れて勉強を重ねました。その後もあらゆる機会を逃さず勉強を続けて56年、現在に至ります。宮崎の畜産農家は高齢化問題を抱えています。私の後継問題も皆さん心配して下さいますから、まだまだ第一線を退きません。

●山元動物病院

【診療時間】 小動物は午前6時前と午後7時以降に要電話連絡
昼間は畜産農家を巡回
【休診日】 特になし
【交通】 JR日南駅から車で約10分
【住所】 宮崎県日南市上平野2-15-8
TEL: 0987-23-3751

◎一口メモ

昭和22年開業。ひとりで畜産農家を飛び回る山元先生があるとき、運転手を雇って農家を巡回したところ、2週間の走行距離は4万kmに達したという忙しさ。合間に小動物をケアする。具合が悪いペットは朝、病院に預かり、農家を回る合間に診察する。



われら日大ファミリー
加藤達郎さん一家

北海道釧路市を拠点にプライマリケアに精力を注ぐ加藤達郎先生は、本学医学部の出身。長男・豊さん(加藤歯科医院院長)は本学松戸歯学部へ、長女・恵さんも文理学部国文学科に進んだ。恵さんのご主人も文理学部心理学科の卒業生。さらに豊さんの長男・駿さんは現在、松戸歯学部在学中で、そのうえ来春、恵さんの長女・映美さんも生物資源科学部への進学が決まっている。旧制日大三中卒業生である達郎先生の次弟も含めると総勢7人。まさに日大ファミリーだ。

「息子と娘には僕が進めました。孫には息子たちが勧めたんでしょね。というのも、本当にいい大学だから」

達郎先生は満面の遠い目で語り始めた。昭和21年早春、戦後の混乱の中で、医師への道を全うしたい達郎先生は本学とまさに運命的としかいいようのない出会いをした。

舞鶴港で終戦を迎えた達郎先生は、東京の実家に帰り、家族の無事を確かめると大阪帝国大学に戻った。食べるものも満足にない時代のこと、達郎先生たち学友は大学に寝食し、暮らしをしのいだ。しかし、大学側は学費の納入を要求し、座り込む学生たちの追い出しにかかった。

「GHQの手前、兵隊だった学生を擁護するのははばかれたのか、冷たくてね。学費が払えないなら退学か休学かど迫



釧路北病院 名誉病院長
加藤 達郎 (昭和24年医学部卒)

(かとう たつろう)
大正7年、医師のお父様の赴任先である朝鮮生まれ。小中学校は東京品川、高校は旧制山形高等学校。昭和17年、大阪帝国大学医学部に進学するも、応召されて休学。戦後、復学するが、昭和21年本学医学部編入。24年卒業後は三井別荘業所病院を皮切りに、明治鍼灸院、白樺町国保診療所など北海道で地域医療に当たり、釧路北病院へ、専門はプライマリケア。釧路北病院ではお年寄りの診療に当たっている。講道館柔道6段。趣味は溪流毛鉤釣り、短歌、絵、登山、写真など多彩。「運命婚記」など著作も多数。

る。交渉の末、大学転学令によって私学へ推薦してくれるというので日大に行きました。そこでお目にかかった総長が優しくて「失礼だけど、学費のことは心配なくていいよ」とおっしゃる。「ある時払いでいい」と。私学の人情味を感じて、不覚にも涙が出ました」

このエピソードは当然、豊先生も聞かされており「父にかけた日大の温情が僕ら家族の運命を変えました。家族のルーツなんです」と目を潤ませる。日大ファミリーはこうして脈々と、思い出を軸に形成されていったのだ。

「でもね、日大4代目ができたら、医学部を狙わせませす。ひいじいちゃんになった父へ、じいちゃんの僕からのリベンジです」と豊先生。すると達郎先生、豊先生に聞こえないように「それは、うれしいね」と笑った。

●医療法人豊慈会
釧路北病院

【診療科】 内科・リハビリテーション科
【ベッド数】 244床
【診療時間】 9:00~12:00
【住所】 釧路市愛国西4-2-2
TEL: 0154-37-6111
FAX: 0154-37-3811
※釧路北病院は来春、移転予定。

●加藤歯科医院

【診療時間】 9:00~18:00
木曜午後はホーム診療を行っている。
【住所】 釧路市鳥取北4-1-13
TEL: 0154-53-3450
FAX: 0154-53-1467



達郎さん夫妻と長男・豊さんの家族



長女・恵さんと夫・秀人さんの家族

日本大学 法学部校友会

明治22年10月4日、東京市麹町区飯田町の皇典講究所に、松下村塾に学んだ学祖 山田顕義先生が、我が日本大学の前身、日本法律学校を創立されました。4年後の明治26年7月16日、のちの衆議院議員・日本大学理事となった荒川五郎氏をはじめ46人の第1回卒業生を輩出しました。

同年12月23日両国東詰め（現在・両国1丁目3番付近）の料亭中村楼に6人の講師陣と11人の卒業生有志が集まり、校友会が発足しました。

明治36年8月19日、大学組織となり日本大学と改称しました。創立110年。日本大学法学部校友会の歴史は、日本大学校友会の歴史でもあります。

明治・大正・昭和と日本の成長とともに我が日本大学も大きく成長して参りました。平成16年5月22日、日本大学法学部校友会創立110周年を記念して、記念式典・祝賀会を開催致します。

当日は、法学部校友の株式会社ヤクルト代表取締役・堀 澄也氏による記念講演や、日本大学リズムソサエティの軽妙な音楽を聴きながら、全国の校友のみなさんと、なごやかに、110周年を祝う予定です。

時は平成となり、日本大学校友会が大きく変わろうとしている今日、我が法学部校友会も躍進したいと願うものであります。その為にも世代を超えて大勢の校友の皆様にご出席いただきまして、歴史を語り、思い出を語り、そして、未来について希望を語り合いたいと強く願うものであります。

万障お繰り合わせの上、何卒ご出席いただきますようお願い申し上げます。

（日本大学法学部校友会幹事長 中村克夫）



明治26年料亭中村楼に集まった講師陣と第1回卒業生有志



今村 忠雄会長

法学部校友会創立110周年記念式典・懇親パーティーのお知らせ

- 日 時 平成16年5月22日（土曜日）
- 会 場 八芳園 東京都港区白金台1-1-1 TEL 03(3443)3111(代)
- 総 会 午後2時から
- 記念式典 午後3時から
- 記念講演 株式会社ヤクルト本社代表取締役・ヤクルトスワローズオーナー 堀 澄也氏 昭和35年法律学科卒

- 懇 親 会 午後5時から
日本大学リズムソサエティによる演奏会
その他各種アトラクションを予定
- 会 費 10,000円（但し、平成16年3月卒業生及び在校生は3,000円です。）
- 連 絡 先 日本大学法学部校友会事務局
東京都千代田区三崎町2-3-1 日本大学法学部内
電話03(3261)9274 FAX 03(3222)3567

日本大学校友会 静岡県支部



飯尾 健太郎支部長

戦後復興の気運が高まりつつある世情の中、同好会的な形で、当時大昭和製紙の社長である齊藤了英先輩が設立されたのが校友会の幕開けだと聞いております。初代会長として就任以来18年間の長きに亙り会長の職を歴任され、揺るぎない校友会静岡県支部の礎を築かれた事を聞き及ぶに至っては、唯ただ敬服の念を禁じえませんでした。

爾来幾多の変遷を経て、現在の東部地区会・中部地区会・西部地区会の組織編成が確立されました。3年を任期として、東・中・西の地区会が輪番で支部長を選出すると共に各地区会は副支部長1名を選出する機構となっております。

田口・神谷・庄司など医学部出身の支部長が多かったように記憶しておりますが、近年松井先輩が情熱を燃やし活躍されました事も歴史の一頁かと存じます。

支部長を拜命している私としては、先輩諸兄が永々と築きあげた伝統と歴史を汚す事のないよう努力することは勿論、「支部長たる者、常に公平であること・信義を重んずること・常に平和であること」が会員の求める支部長像であることを自覚すべきだと考えております。初代支部長から歴代支部長の正確な記録を辿り、静岡県支部の歴史の編纂も課せられた務めと考えております。

さて、2002年9月発行の会員名簿によりますと、県下の会員数は、東部地区（富士川以東）5,688名、中部地区（富士川以西、大井川以東）1,947名、西部地区（大井川以西）534名となっております。約8,200名の登録ですが、実質15,000名以上の校友が静岡県で活躍されていると想像されます。他の大学と比較して、今後更に本学及び校友会のPRを活発にすべきであると、数字が教えてくれます。

本年は、国体の開催地として全国に脚光を浴びた静岡県でしたが、来春は箱根駅伝に母校の栄誉を担って活躍するであろう後輩にエールを送ろうと「がんばろう・箱根」と銘打って、支部総会を12月6日に三島の国際関係学部のキャンパスにて開催しました。全国の校友諸氏共々、熱いエールを送るうではありませんか。

（日本大学校友会静岡県支部長 飯尾健太郎）



Nihon University Alumni Association

イベント情報

12月以降の保健体育審議会所属各部の試合日程をお知らせします。

詳しくは保健体育事務局
(電話03-5275-8279)まで
お問い合わせください。



競技部	日付	大会名	場所	
陸上競技部	1/2~1/3	東京箱根間往復大学駅伝	東京都~神奈川県	大手町~箱根芦ノ湖
相撲部	12/7	全国選手権大会	東京都	国技館
卓球部	1/12~1/16	全日本選手権大会	//	東京体育館
馬術部	12/6~12/7	全日本学生選手権大会	//	JRA馬事公苑
		全日本学生女子選手権大会		
重量挙げ部	12/5~12/6	全日本大学対抗戦	神奈川県	磯子スポーツセンター
ラグビー部	12/14~	全国大学選手権	東京都	秩父宮ラグビー場他
ボクシング部	12/6~12/8	全日本大学王座決定戦	香川県	木田郡庵治町体育センター
スキー部	12/20~12/21	全日本コンバインド大会	北海道	名寄ピヤシリスキー場
	12/20~12/23	全日本学生チャンピオン大会	//	音威子府チャネシリクロスカントリーコース
	1/4~1/9	全日本学生アルペンチャンピオン大会	長野県	志賀高原
	1/12~1/17	全日本学生選手権大会	秋田県	花輪スキー場

競技部	日付	大会名	場所	
スキー部	2/3~2/5	全日本選手権大会(コンバインド種目)	北海道	大倉山及び白旗山
	2/13~2/15	全日本選手権大会(ジャンプNH種目)	//	札幌市宮の森
スケート部	12/13~12/14	全日本スピードスケート選手権大会	//	苫小牧ハイランドスポーツセンター屋外リンク
	12/18~12/19	全日本学生スピードスケート選手権大会	群馬県	伊香保スケートセンター
	12/24~12/25	全日本スプリントスピードスケート選手権大会	栃木県	日光霧降スケートセンター
	1/6~1/9	日本学生氷上選手権大会	//	//
	1/12~1/15	全日本ジュニアスピードスケート選手権大会	岩手県	岩手県営スケート場
バスケットボール部	12/8~12/14	全日本学生選手権大会	東京都	代々木第2体育館他
レスリング部	12/20~12/23	天皇杯全日本選手権大会	//	//
アメリカンフットボール部	9/6~12/7	関東大学リーグ戦	//	大井第2球場他
フェンシング部	12/12~12/15	全日本大学対抗戦	埼玉県	蓮田市体育館
応援リーダー部	12/6~12/7	全日本大学選手権大会	東京都	代々木第2体育館

新規公認桜門会（平成15年12月5日現在）

7月の役員総会以降に、校友会常任会で公認された桜門会は次のとおり。

- 桜門六人会
- 日本大学応援団本部（桜応会）桜門会
- 町田桜門会
- 関電工桜門会
- 日本大学弓道桜門会
- 日大剣道部桜門会
- 体操桜門会
- 日大テニス桜門会
- 重量挙げ桜門会
- 山岳部桜門会
- スキー部桜門会
- 日本大学スケート部桜門会
- レスリング部桜門会
- 八幡山サッカー桜門会
- ヨットクラブ桜門会
- 日本大学フェンシング部桜門会
- ハンドボール部桜門会
- 日本大学準硬式野球部桜門会
- 日本大学バスケットボール部桜門会
- 飛鳥桜門会
- 木内建設株式会社桜門会
- 射撃部桜門会
- 桜門・報道クラブ

●台湾日本大学校友会が新組織に

台湾で活躍している校友の組織「台湾日本大学校友会」の設立大会が10月5日、陳水扁総統を迎えて台北市・晶華ホテルで開催された。

台湾の政界や経済界などで活躍している本学の校友は、約600人にのぼっているが、国内情勢から全国的な校友会の組織作りへの制限が厳しく、これまでは地域組織の「台北市日本大学校友会」として昭和61年から活動を続けてきた。しかし情勢の変化から全国組織が認められることになり、政府の設立許可がおりたため、この日の大会となった。会長には陳鶴聲氏（昭和39年芸術学部卒）が旧組織に続いて就任した。

本学から小野沢元久副総長や臼田貞夫校友会会長、本学常務理事の田中英壽本部長、賀島豊副会長、松井健治副会長、吉田正裕校友会本部事務局庶務課長らが出席し、160人余りの参加者とともに祝った。



●校友会活動資金への寄付がありました

中島正美さん（昭和52年商学部商業学科卒）から、7月28日に「校友会活動に役立ててください」との主旨で正会員会費の他に、金10万円の寄付がありました。心より御礼申し上げます。

●準会員2大支援事業がスタート

1. 診療費助成制度

この制度は、日本大学校友会会則第3条第11号「準会員（学生）の福利厚生に関する助成事業」に基づき、日本大学校友会準会員（以下準会員）に適用されるもので、在学中の健康管理や疾病について一定額の補助を行い、学生生活の安全を確保し、福利厚生の充実に資することを目的とした制度です。

内容は、契約している日本大学医学部附属板橋病院、同付属駿河台病院、同付属練馬光が丘病院、歯学部付属歯科病院および松戸歯学部付属歯科病院で準会員が受診（入院）した場合の診療費の一部を校友会が助成するものです。助成は、健康保険を適用した保険診療一部負担金（食事療養費自己負担分や調剤薬局分を除く）の内、健康保険法高額療養費制度自己負担限度額までを負担します。

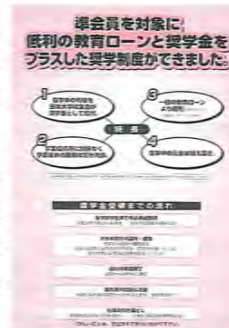
申請は、各学部学生課にある助成申請書に金額や振込口座等を記入し、校友会本部で書類審査をして、指定銀行口座に振り込むシステムになっています。上図のようなポスターを作成し、各学部に貼ってもらい周知しています。10月から受け付けをスタートし、すでに何人かの学生に助成をしました。



2. 奨学金制度

この制度は、日本大学校友会会則第3条第10号「準会員（学生）の学業、体育及び文化活動に対する助成事業」に基づき、日本大学校友会準会員に適用されるもので、経済的理由により学業の継続が困難な学生に対し資金的援助を行い、志半ばにしてやむを得ず退学していく学生（準会員）を救済する制度です。

日本大学奨学金や学部等奨学金による救済制度では充足できない経済的困窮にある学生に対して奨学援助を行うことにより、大学並びに校友会への帰属意識を高めることを目的に、独自の奨学金制度を創設しました。この奨学制度は、在学中の元本は据置きとし、卒業までの利子は校友会が全額を奨学金として給付し、元利合計の返済は、卒業後に契約者が元利均等方式で返済する内容のものです。これは、同僚大学の中でも数少ない制度といえます。保証会社方式と、学費の支弁等が極めて困難な場合に適用される大学保証方式とがあります。診療費助成と同様に上図のようなポスターを作成し、各学部に貼ってもらい周知しています。



●準会員版「桜縁」〈ジュニア〉創刊

今年度から準会員（学生）制度がスタートしたのに伴い、上記のような準会員への支援事業の説明や、先輩である校友の紹介などを掲載した準会員向け「桜縁」〈ジュニア〉を創刊し、12月上旬に学生個人宛てに郵送しました。校友会会長、総長、校友会本部長の挨拶の他、特集として学生向け支援事業の説明、校友の紹介、先輩が経営するお店・お宿の紹介などの内容で12ページ。



●本誌への広告募集

正会員向け会報誌「桜縁」に広告を載せていただける企業や個人を募集しています。「桜縁」は年2回発行（毎年1月、7月）、校友会正会員や本学教職員が読者です。読者が日本大学関係者に限定された会報誌です。随時募集していますので、掲載希望の方は、校友会本部事務局校友課までご連絡ください。なお、広告料は1ページ10万円、1/2ページ5万円、その他、継続割引や突出し広告等をご相談ください。よろしくお願ひします。

キャンパス・グラフ Campus Graph!

(記事・写真提供 日本大学広報部)

ゴルバチョフ元ソ連大統領に名誉国際関係博士

冷戦を終結させ世界平和に貢献した初代ソビエト社会主義共和国連邦大統領ミハイル・セルゲイヴィッチ・ゴルバチョフ氏への名誉学位贈呈式が11月13日、日本大学会館で行なわれ、瀨在幸安総長から名誉国際関係博士の学位が贈られた。ゴルバチョフ名誉博士は300人の本学関係者を前にガウン姿で記念講演して本学大学院生の質問に積極的に応じ、世界史の歯車を回したノーベル平和賞受賞者の使命感を漂わせ、出口の見えないイラク問題の平和的解決策などについて提言した。本学からの名誉学位授与は52人目、旧ソ連・ロシアでは初。



ゴルバチョフ氏に記念のメダル付き盾を贈呈

2年連続COE

世界最高水準の研究拠点形成を担う平成15年度の「21世紀COEプログラム」(学際・複合・新領域分野)に、本学の「生物資源科学研究科生物環境科学専攻」が選定され、7月17日、文部科学省から公表された。本学のCOE選定は2年連続。昨年の応用生命科学専攻に続き、再び生物資源科学研究科(科長、佐々木恵彦教授)が選ばれ、「バイオと環境の日大」の評価を確固たるものとした。



屋上緑化実験場の佐々木教授

日大フェアで林教授が講演

「2003日大フェア」が10月10、11の両日、大阪市北区中之島のリーガロイヤルホテルを会場に盛大に開催され、両日を通し校友、地元市民、企業関係者ら延べ800人余が参加した。また11月21日、東京・赤坂の東京全日空ホテルでも特許相談会、文化講演会、校友懇談会が開催された。文化講演会では、林成之医学部教授が最先端医療の脳低温療法について講演した。



熱気の日大フェア=大阪会場

ホットな母校ニュースは「日本大学広報」「日本大学新聞」でどうぞ

広報部では、毎月15日付で機関紙「日本大学広報」(送料共年1,000円)を、季刊で「桜門春秋」(送料共年1,600円)をそれぞれ刊行しています。

また、学生記者が取材・編集する「日本大学新聞」(送料共年2,000円)も学生の話や日大スポーツを満載し毎月発行しています。

●購読ご希望の方は下記まで
広報部

TEL.03(5275)8132
FAX.03(5275)8321

日本大学新聞事務局
TEL.03(5275)8144
FAX.03(5275)8331

●ホームページも開設中

大学の情報は、ホームページでもご覧
になれます。

アドレスは <http://www.nihon-u.ac.jp>

お知らせ・掲示板

このコーナーは皆さんからの手紙や電話でのご意見、ご質問を紹介します。

他にも写真、詩、短歌、エッセイなどの作品や、
本誌で紹介したお店を訪ねた感想なども
募集していますので、「桜縁」係までお寄せください。

日々、校友会活動ご苦労様です。
私の小学5年生になる息子は、現在
ミニバスケットボールをしています。
将来、日大のバスケ部に入り
「NIHON」のユニホームを着たいと
話しています。そしてJBL、NBAへ
と大きな夢を持っているようです。
親として、少しでも子供の夢を実現
させてあげたいと、陰ながら応援し
ています。日大ガンバレ!!
(松岡雅俊・昭和59年農獣医学部食品
経済学科卒/福島県いわき市在住)

母校への愛着がさらに湧き出るよ
うな内容(学生の様子や大学の近況
等)および、人生にとって参考となる
ような内容、かつ実業界にとって指
針となるような内容(学術研究)を平
易に掲載して頂けたらと思います。

また、大学におけるイベント(運動会、
各種スポーツ、芸術)への見学参加、
優待を配慮頂けたらと思います。
(辻 素樹・昭和43年大学院商学研
究科卒/富山県富山市在住)

いつも会報誌
「桜縁」をお送
りいただき、楽
しく拝見してお
ります。私は71

歳になりますが、現在、特別養護老人
ホームで働いています。この写真は、
施設にいる100歳になる鈴木利江
さんと一緒に写したものです。会員
の皆様も、元気にますますご活躍さ
れますことをお祈り申し上げます。
(福井廣海・昭和31年経済学部経済
学科卒/東京都中央区在住)



○インフォメーション

◎本誌への情報提供、ご意見、お問い合わせは…
この会報は1人でも多くの校友の皆さんを紹介し、校
友の皆さん同士のコミュニケーション(縁)を深めてい
ただきたいと思っています。お店やお宿を経営してい
る校友に限らず、ユニークな先輩や後輩がいるとか、
自分を紹介してほしいなど、自薦他薦を問いませんの
で、事務局までお知らせください。

◎住所・勤務先がお変わりになられたら…

住所、勤務先等に変更がございましたら、必ず事務局
までお知らせください。
電話、FAX、メールいずれの方法でも結構です。

◎会員証を紛失されたら…

会員証を紛失された際は事務局までご連絡ください。
再発行させていただきます。

◎新規会員を紹介したい…

新規会員をご紹介くださる方は、事務局までご連絡く
ださい。資料を送付させていただきます。

- 1 封筒、ハガキで
〒102-8275
東京都千代田区九段南4-8-24
日本大学校友会本部事務局校友課「桜縁」係
- 2 電話、ファクシミリで
TEL. 03(5275)9300
FAX. 03(5275)8330
- 3 電子メールで
E-mail: koyu@adm.nihon-u.ac.jp

編集後記

広報委員会・今村忠雄

箱根駅伝特集はいかがでしたか。会報「桜縁」を見ながらテレビ中継
や現地でも応援をすると、今まで以上に興味がわくのではないですか。
「日大ファミリー」というコーナーを始めました。本学卒が2代、3代という
日大一家が結構いるようで、今回は加藤さんを紹介しましたが、皆さんの
まわりやご本人が日大ファミリーという方、事務局までご連絡下さい。

桜縁 No.4/2004.1 発行 編集・発行 日本大学校友会
〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24
TEL. 03(5275)9300 FAX. 03(5275)8330

広報委員会

委員長:今村 忠雄

副委員長:猿渡 光

委員:竹井 哲也 中村 克夫 渡邊 和子 穂積 修一 石井 宏 紙本 勲
萩原 正芳 横須賀 靖 齋藤 直樹 大橋 治彦 中島 正博 呉屋 正盛